

平成 30 年度  
事業報告書

施設名：たかし保育園稲毛海岸

平成 31 年 3 月 31 日  
社会福祉法人茂原高師保育園  
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

平日 午前7時～午後8時  
土曜 午前7時～午後6時

② 特別保育事業

産休明け保育事業	生後57日より
延長保育事業	18:01～20:00
地域交流	園の行事に参加

③ クラス体制および利用状況

めばえ組…0歳児 ふたば組…1歳児 しげり組…2歳児  
みのり組…3・4・5歳児

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	3	4	5	6	6	6	30
30年4月	4	7	7	7	4	6	35
31年3月	7	7	6	8	4	6	38

④ 職員体制

園長 大岡さおり	ふたば 草野志歩	みのり 石井彩乃	フリー 石山麗
主任 中林瑞穂	ふたば 西谷友香梨	栄養士 飯竹安輝子	フリー 大塚琴子
副主任 草野志歩	しげり 北野夏美	栄養士 増田美貴子	※柳樂莉奈→9月退職 9月→石山麗めばえへ
めばえ 古山美佳	しげり 石井佑果	延長保育 森裕子	
めばえ 柳樂莉奈	みのり 萱沼莉莎	看護師 森嘉七子	

2. 年間行事実施状況

誕生会・避難訓練・身体計測・運動遊び（毎月実施）・園バス（不定期）

4月	入園式 進級会 お花見 徒歩遠足 運動あそび開始（～3月）
5月	こどもの日の集い プラネタリウム（年長）内科健診
6月	歯科健診 歯磨き指導（みのり）保育参加&親子で絵本 不審者対応「いかのおすし」
7月	水遊び セタの集い 尿検査 お泊り保育（園内）
8月	水遊び すいか割り 園バス プール（近隣保育園）
9月	総合避難訓練 ランチバイキング 尿検査 リトミック

	親子遠足(アンデルセン公園)
10月	運動会 芋ほり(3・4歳児) 園バス 芋煮会 合同避難訓練(消防士立会い) 内科健診
11月	通報訓練 園バス 就学児健診(年長) 小学校交流
12月	クリスマス会 餅つき 園バス
1月	初詣(全園児) 初釜(みのり) 発表会 リトミック
2月	節分の集い 食育(味噌作り) 保育参観週間 保育面談週間 プラネタリウム
3月	ひな祭り会 徒歩遠足(全園児) お別れ遠足(みのり組:動物園) 進級会 入園説明会 ランチバイキング お別れ会・炊き込みご飯作り(年長) 卒園式

### 3. 職員研修実績

日	参加者	研修名
毎月第2:火	大岡	常任委員会議
毎月第2:木	大岡	園長連絡会議
毎月 1回	中林	主任会
年間 6回	飯竹	栄養士研修
年間 10回	担当職員	法人内研修
年間 5回	大岡・保育士	就職説明会(千葉女子、清和、敬愛、植草、明德)
年間 2回	大岡 他	民間保育園協議会総会 保育大会
年間 6回	石井(彩) 大岡	美浜区会 全体会
年間 7回	草野・中林・大岡	子育てフェスティバル実行委員会
4/11	柳樂	新人研修(茂原)
4/16	大岡	行政説明会
5/14	石井(彩)	DV・児童虐待新任職員研修
5/18	石井(彩) 柳樂	離乳食・幼児食について
7/6	草野	子どもの歯と口を守るために知っておきたい事
8/9	石井(彩)	幼児のことば遊びの会 東京大会
8/6・7	藤代	全国保育士会 食育推進研修会
8/20, 21, 22	西谷・柳樂・石井	メイト サマースクール
8/25	北野	サバティカル研修 オリエンテーション
9/6	藤代	給食担当者実務研修
9/12	増田	子育てフェスティバル 食育会議

9/21	藤代	栄養士研修
10/2	森(嘉)	感染症予防講習会
10/24, 25, 26	佐々木	全国保育研究大会
10/25	萱沼	日々の保育を深めるために
11/2	西谷	日々の保育を深めるために
11/27	石井(彩)	保育士研修会
11/23, 24, 25	北野	保育者のための研修 サバティカル 2018
12/2	北野・大岡	保育園振興大会
12/10	石井(彩)	保育士研修会
12/6	飯竹	食物アレルギー対応に関する研修会
1/12	石山・古山・飯竹	人財育成と職員間のコミュニケーション
1/21	草野。飯竹、石山	美浜区会 全体会
1/23	飯竹	栄養士研修
2/23	石井(佑)他	民間保育虚偽会 保育大会

#### 4. 運営費執行状況(決算書)

別紙「決算書 平成30年度 (自)平成30年4月1日(至)平成31年3月31日」参照

#### 5. 評価および反省

保護者、地域、近隣園に協力して頂きながら1年間、無事に大きな事故や苦情もなく、保育を行う事が出来ました。また、外部研修で著名な講師の研修、キャリアアップ資格取得など計画的に参加させることが出来、保育者も新しい学びのきっかけに繋がったと思います。

保育内容では開園時から7年目を迎えた職員が中心になり行事計画や日常の保育に対して積極的に関わられるようになり成長が感じられる一方で、自分の考えが正しいと押し付け後輩に厳しく指導する事があり、途中で退職者を出してしまったことは園長はじめ、大いに反省し今後の新人育成についても話し合いました。子ども達の保育に支障が無いよう配慮し、全体で連携を取りながら保育に努めました。

全体的に大きな行事に力を入れる事よりも、日々の日課を大切にしたい保育を行ったり、保育教材の工夫をしたり保育の基本を考える1年でした。今後もこの基本を大切にしながら保育士と子どもとが充実感が得られる保育園になれるようにしていきたいと思っています。